会　議　録

件　名	清水小学校保護者説明会・意見交換会（第１回）
日　時	令和６年５月２５日（土）午後 2 時 00 分から午後 4 時 40 分
場　所	清水小学校　体育館
参加者	保護者　３２名（家庭数２４） 今田教育長、岡教育部長、阪口参事、丸山教育総務課長、大谷学校教育課長 長谷川生涯学習課長、森田教育相談センター長、東川、中山 籔下教育委員、田中教育委員

今田教育長挨拶、丸山教育総務課長から資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。なお、出席した保護者には、後日、意見等を記入できる用紙を配布しました。欠席した保護者にも資料の配布とともに意見等を記入できる用紙を配布します。

説明会・意見交換会で出された意見等は以下のとおりです。

１－１．統合はしょうがないことと思うけれど、橋本小学校で統合されたらいいのではないですか。資料１６ページに、１学年２学級以上というのが望ましい学校規模なんですよね。学文路小学校の新１年生２人、清水小学校７人、合わせても９人。１７、１８ページで書いてあるメリット･デメリットなんか、足して９人で何も変わらないんじゃないですか。距離でも学文路小学校の方が遠いし、近い橋本小でと言ったらわかります。長男が５年生なので、次に橋本中央中学校に行くんです。もし何かあっても長男と一緒に次男が橋本小学校へ行くことになれば、何かあっても２人で一緒に待ってくれる。
学文路小学校との統合は、何のメリット・デメリットを説明したのかなというとこです。
（教育委員会）
　確かに新１年生足して９名になりますが、この第２期基本方針の学校再編の考え方は、同じ中学校区を定義とし、橋本小学校、学文路小学校、清水小学校、西部小学校が橋本中央中学校の校区となっています。この４校を長期的にはなりますが 1 つの校区と考えましたので、まずは清水小学校と学文路小学校の統廃合をしていきたいと考えました。これは第２期基本方針に書かれていないことですが、河南に学校を残したいという思いもありました。橋本小学校のキャパシティの問題等もあり、まず清水小学校と学文路小学校の再編統合にさせてもらっています。ただ、きょうだいの関係でお兄ちゃんが行って、弟さんがとなったときは、いろいろ事情が出てくると思います。貴重なご意見をいただきましたので、持ち帰らせていただきます。

１－２．選択制を入れていいのではないですか。残したいのは橋本市の意見でしょう。橋本

小学校に入れたいというのは、僕ら保護者の意見です。学文路小学校に行かせる、橋本小学校に行かせるという選択肢を入れてもいいのではないですか。橋本市がこうやってと言ったら、意地になってしまいます。我々がイメージしてる役所仕事をされるだけなんで、選択制を是非ともお願いしたい。

（教育委員会）

教育委員会内部で検討させていただきます。

２．なぜ清水小ではなく、学文路小なのかなと思ったのと、もう学文路小学校というのは決定なのか、まだ何割か清水小学校も考えているのかというのを聞きたいです。

（教育委員会）

１点目のなぜ学文路小学校なのかというところにつきましては、学文路小学校は平成２９年度から３０年度にかけて、大規模修繕を行っており、建物の補強をさせてもらっていることもあるのが一番の理由です。それから、この学校再編が決定なのかということにつきましては、現在は決定ではありません。あくまで教育委員会の基本方針を説明させていただいて、橋本市としての計画には至っていません。

３．学文路小学校が修繕されて、耐震強度が上がったというのはわかりますが、大谷川がよく増水して氾濫します。以前、避難された方が増水したため、ご自宅に帰れなかったという話をお伺いしていますが、その辺の安全面というのは検討されているのかが心配です。

（教育委員会）

確かに以前はありました。例えば大谷川が氾濫し、学校が浸かるという状況であれば、学校は臨時休校とします。子供が危ない場面で登校自体をまず控えさせてもらいます。大雨は天気予報で予測できる部分があって、川の増水でお子さんに何かあってはいけないので、その部分は回避することで考えています。

４．避難された方が帰れなくなったという話を聞いています。避難しないといけないというような場所が、避難できないような場所で安全なのかなというのは、正直心配なところです。清水小学校が安全かどうかというのを僕らも調べてないのでわからないですけれど、そこにいかないというのはわかりましたが、そこへ行った人が、帰るとき増水のせいで帰れないという話も聞きましたので、そういう場所になっているという怖いところもあるのかなと。そこも整備されて、より安全で、何かあったときに避難できるような場所になっているのか。遠いところもちょっと心配ですが、僕は一番心配になったのは、よく大谷川が氾濫して溢れているというのがあったので、気になっているところはあります。

（教育委員会）

教育委員会で答えていいのかということはありますが、危機管理室では、浸水想定をした場合は該当する避難所に避難させることはできません。すべての学校の体育館がメインに

なってきますが、そういったところは全部開けるのでなく、川が氾濫するとなれば開けません。過去にそういったこともありましたので、そういう指示の出し方も危機管理室と協議すべきと考えます。

５．関連してなんですが、学文路小学校は土石流の警戒区域になっていますけど、その辺は考えているのでしょうか。あと、令和１０年を目標にということですけれど、その１０年と決められた理由を教えてください。

（教育委員会）

土石流の警戒区域に関して、ハザードマップで枠の中に入っているのは承知しています。その中で、なぜ令和１０年度に目標を設定したかと言いますと、１つはこの児童の人数と、この再編計画を令和１１年度を目標に４つの中学校区を順番にさせていただこうと思っている中で、早く進めなければならないところを９年度にさせていただいて、順番に１０年度ということで、児童数を見込みながら最短の目標として設定しました。

６－１．警戒区域のことは認識しているということですが、やはり災害があると、子供たちの安全を守らないといけないのが一番優先かと思います。その辺りは十分考えて学文路小学校にするのか、清水小学校にするのかを考えていただけたらと思います。１０年度に決まったというのは、人数が最も減るところから統合していくということで間違いないですか。

（教育委員会）

人数もありますが、別の中学校区では災害対応というのも観点もありました。人数だけではなくて、災害のリスクを少しでも抑えたいという理由で、こちらの目標年度よりも早めたところがあります。

６－２．災害対応の面では、たぶん境原小学校のことと思いますが、そういうことであればこの学文路・清水小学校のところでもしっかり考えていただけたらと思います。

（教育委員会）

承知いたしました。

７．平成２９、３０年に大規模改修を行ったと。第１期の基本方針のときから、長期的に見て統廃合は多分どこかのタイミングでしないといけないというのは把握されていたと思います。その方針が２６年に決定し、学文路小の大規模改修を２９、３０に行ったと。そうすると、今後、統廃合するときには学文路小しか考えられないということを考えていたのか。大規模改修が大きな理由と言っていましたが、その時には統廃合となったら学文路小になるということを踏まえた上で改修したのか。そのタイミングで清水小を改修していたら、清水小も対象になったのか、そこら辺もすべて検討し、氾濫とか、そういう話も踏まえた上

で学文路小を選択されているということでよろしいですか。

（教育委員会）

平成２９、３０年の大規模改修工事の時点では、説明しています学校再編については一切検討していません。平成２６年に前の基本方針は決定したわけですが、その時は、小学校は存続させるという決定事項でした。ただし、子供の数が減っている学校については、児童数や生徒数の様子を見ながら、施設の老朽化とともに、改めて時期が来れば検討しなければならないという考え方でした。それを踏まえて、令和５年度から検討委員会を設け、児童生徒数の推移、学校施設と安全性、地域との関わり、教育内容や教育条件がどんどん変わってきているというところなどを踏まえ、検討を重ねた結果、今回の内容のご説明に至っています。そういうことから、工事の時点では、清水小と学文路小を一緒にして学文路小学校にするという決め事はしていません。

８－１．学文路小と清水小のところですが、学文路小にというのは決定しているのでしょうか。まず、そこをお伺いしたい。

（教育委員会）

現段階では決定していません。

８－２．それであれば、そこがまず話し合いの焦点になると思います。お話を聞いていると、学文路小学校の横に定点カメラも設定されているぐらい危険な川があると周知されているので、やはり統合されるとなると、その辺も不安の要素があります。先ほどから話があるように児童数がひとけた台という状況の中、改修工事等が行われているという理由のみで行くのはいかがなものかというところが、皆さんあると思います。どちらにするのかというところが問題なのかなと思います。いずれ児童数が減っていくので、どこかしらと統合するとなれば、これは仮に清水小学校が学文路小へ行く場合、橋本小学校に行くということも視野に入ってくると思います。これはスムーズにいける状態なんでしょうか。

（教育委員会）

キャパのことだけで申し上げますと、清水小学校の児童というだけであれば話が変わってくるのですが、今回は中学校区の４校の中で、まず清水小学校と学文路小学校を考えさせてもらっています。清水小学校だけが橋本小という考え方は今のところありません。学文路小だけが残ってしまうと一定の規模を確保したいという考えは、整合性が取れないので今のところは考えていません。

８－３．そうであれば清水小か学文路小かというのを、十分に話し合う機会が必要だと思います。人数が少ない学文路小学校になりますので、こちらから行く人数が多いと労力がかかるので、そこら辺も検討してください。それと学文路小学校へと書いているので、学文路小学校決定ありきのように見えます。決定はしてないということですが、それがわから

ないところです。本当は決定しているともとれるので、そこから話し合いというのを設けてもらう方がいいと思います。皆さんの話を聞いていたら、そういう感覚があるのかなと思います。

あともう一つ、入学説明会のとき、こういう話を小学１年生、２年生の保護者さんは聞いていないと思います。決まっていなかったかもしれませんが、それをもとにお住まいを決められたり、新築工事したりという方もいらっしゃると思います。タイミング的に新小１に入られる前に聞いたら、そうなんかなという感じで入ってくる方もいらっしゃると思います。途中でとなると、相当負担がいろいろとあると思うので、時期的にもかなり微妙なタイミングかなと思います。その時期というのと、統合先をどちらにするのかというところ、もしこの統合を清水小じゃなくて学文路小にした場合、改修が満たされてないということだとかいろいろあると思うのですけど、やっぱり先の話にあったように避難場所にもなっているので、どのみち対応しないといけないと思うので、そこの差は無いのかなと思います。まず清水小と学文路小をどちらにするのかという議論から開始した方がいいと思います。それと時期のことです。

（教育委員会）

ご意見を聞かせいただきました。一旦方針としましては、目標という形にさせてもらっていますが、保護者の皆様からご意見をいただきましたので、その辺り持って帰らせていただいて協議をしたいと思います。

８－４．１０年度を目標にと書いているのですが、これ何によって左右されますか。
目標なので、ずれ込むことがあるという想定だと思いますが。

（教育委員会）

資料２２ページ、今後の進め方というところです。先ほどから説明をさせていただいた対象となる小学校８校に、このような形で回っていく予定です。そのあと地域説明会ということで、地域の皆様にも同じように説明させていただきます。園児の保護者の皆様にも説明をしたいと考えています。そういうことをしていきますと、２２ページに書いています計画ができた段階で決定としていますし、その決定をしてからも準備がかかると考えていますので、この決定の時期がずれてくれば、この方針の最短で書かせていただいている目標年度につきましても、延びていく可能性はないとは言えません。これからお話をする中で、場合によっては持ち帰り、修正ということも出てくる可能性はあります。

９．川の南側に学校を残したいという理由は何か。それと、これだけ考えている中で、なぜ橋本小学校を新しく建てたときに、そこに全児童を入れるような考えがなかったのか。
ちょっと不思議に思っています。南側の人数少ないところをひっつけて、それでも１０何人しかいないような１クラスを作るのであれば、橋本小学校をしっかり考えて、もう一気にまとめられなかったのかというのはなぜか。ちょっと疑問に思ったので質問させていた

だきます。

（教育長）

私からお答えさせていただきます。橋本小学校が移ったのは平成２５年です。移る一番の大きな原因は何だったかというと、校舎の耐力度が低いということがわかり、その校舎を耐震化しても、もたない校舎だということになり、建て替えなくてはならないということになりました。その際に、今の場所を選定し、新築移転という形をとりました。その時の子供たちの人数を考えたときに、例えば清水小学校、学文路小学校と橋本小学校と一緒になったときの人数、それと同じ中学校区である西部小学校の人数を考えたときには、とても収まりきれないというのがあったと思います。以上のようなことで、橋本小学校の建物をそのまま新築移転するという方針にしたと、私の認識はそんなふうになっています。もし違うところがあれば、また後日改めて訂正をさせていただきます。

１０－１．南側に残したいというのはなぜなのかと、もうここまでグラフやビジョンとか見ていると、専門家からすれば、人数減ってきていて、同じ校区を１つに最後はまとめたいみたいな感じなので、それなら清水と学文路をまずひっつけて、さらにまたひっつけてというのであれば、大規模なお金のかかる小学校を建築するというのにあたって、なぜ、３校（清水小学校・学文路小学校・橋本小学校）を１つにして、西部小は人数減ってきてから入るようになればという考えが出てこなかったのかなというのは疑問です。理由があってそうしているんであればなんですけど、そういう予想がされなかったのかというのが不思議だったので、その辺も教えていただけたらと思います。

（教育委員会）

今言っていただいたことは、事務局の中でも議論はしました。議論したのですが、学文路小学校、清水小学校と橋本小学校をすべて橋本小学校にとなりますとキャパの問題があり、今の橋本小学校では、すべての児童を受け入れるという環境が整えられないということもありまして、いきなり３校というのは建物構造としてはできませんでした。

１０－２　土地とか、そういう話の問題ですか。

（教育委員会）

建て増ししたら、話は変わってくるかと思うんですが、現存の校舎でということでご理解いただきたいと思います。改築を考えたら話が変わってきますが、現在の校舎のスペースでということで考えました。

１１－１．あと数年後の橋本小の人数も減ってくる。学文路小と清水小を合わせた人数でいくと、そう変わらないと思いますが。

（教育委員会）

普通教室だけであれば可能性はあるのですが、特別支援教室等も必要となってきますの

で、一定の教室数を確保することが必要となります。そうなりますと、現状ではスペースが足らないというところです。

１１－２．特別教室が足らないのであれば、その敷地内でまた別途考えられると思うのですが。

（教育委員会）

考えられると思います。

１２．子供は３年生で、下に年中と年少もいます。素直にこの学校の雰囲気が好きだからもちろん残して欲しいというとすごく思うのと、下の子たちが入学しても、もう１回統廃合が考えられていて、最終的に橋本小に行くので、２度学校がなくなるという思いをするので、そういった面にも配慮していただきたいと思います。何より送り迎えの際に、学文路小学校はカーブが続くところから出入りになるので、シンプルに危ないという思いもあります。子供たちも見通し悪いところに、保護者が送り迎えに来ている。人数も増えるというのも危ないと思うので、災害とかの安全もそうですが、そういった面での意見も募ってから考えていただけたらと思います。

（教育委員会）

ご意見ありがとうございます。学文路小学校前の道路事情等も考えさせていただきます。

１３．さっきの道路事情と関連してです。どちらになるにしても清水小と学文路小の間は、歩道が非常に狭いんです。改修の予定などはあるのか。車道側にガードレールもないし、歩道が狭くて２人並んで歩けるのかと思います。紀伊清水駅で降りるのですが、学文路駅まで乗り過ごして引き返して歩いてきたら、やっぱり狭い。ここを歩くのかと思ったんです。どちらになっても通るはずなので、そこは本当にぜひ何かあってから、ワイドショーでよく事故が起こると思ってたのですが、そういうことになってはいけないので改修はお願いしたいと思います。

（教育委員会）

ご意見ありがとうございます。確かに歩道が狭くて、もう歩道自体そのものが設けられないという実情を私ども現場で感じておりまして、ハード的に拡げるということは、今のところアクションを起こしにくいのですが、資料２０ページに統廃合の対象となる学校の児童に、スクールバスでの送迎を通学手段の一案として考えさせてもらっています。当然、バスを停めるところのスペースであるとか、どこを発着点にするのかというところもありますが、まずは安全面で、報道されているようなことが起こってはいけないので、一案としてこのスクールバスの運行ができないかと考えています。

１４．スクールバスの話が出たと思います。学文路小学校になるのか、どこと統合するかわ

からないですが多分統合しますよね。スクールバス対象者は、廃校となる学校の児童生徒と書いてあるんですけど、当然スクールバスがあるのだったら、元いた学校の子供たちも、この２キロを超える場合、乗せてあげることはできないんですか。せっかく１つの学校で、これから友達になっていくのに、清水小学校の子供だけスクールバスに乗ってくるみたいな形になるのは、おかしいじゃないかなと思いました。また資料２０ページの３番ですけど、児童生徒の環境変化への対応というのは、具体的にはどのようなことを考えていますか。

（教育委員会）

まずスクールバスの対象で、なぜその廃校となる児童だけがというところですが、やはり今の学校に通っていただく環境よりも、子供に負担をかけてしまう形になりますので、そこは廃校の対象になる学校の子供に限定させていただいています。

２点目の児童生徒の環境変化の対応です。学校が変わるというのは、不安が計り知れないというのが実際のところだと思います。学校が変わる方、それから来られる方もありますので、いろんな面で取組を重ねながら、子供、保護者の皆さんの気持ちを少しでも安心できるものにしていけたらと思います。まず子供たちには、統合によって感じるいろんな不安な気持ちを持つのは当たり前のことなんだということで、誰でもそれは感じるものであり、決しておかしくないと、そういうことも伝えたいと思います。それから、学校全体の関係においても、来る方、来られる方という形は発生してくるかもわかりませんが、それは対等な関係のものでありますし、２つの学校が一緒になって新しいものを作っていこうというところで、子供たちには純粋な形で頑張ろうと、最初のところは本当に不安な気持ちがあるのですが、そんな思いになるように、学校も統合で初めて用意ドンと一緒の形になるのではなくて、統合が決まった段階でも、統合の前にも、前の前の年でも、いろんな形で交流を深めながら、お互いを知り、お互いの交流をする中で、お互いのやりとりというのができて、少しでも安心できる、そういうスタートが切れたらと考えているところです。

その上で、学校もそれが一番大事にしていかないといけないと考えてくれています。不安に思っていることを少しでも周りの大人がキャッチできて、それを学校の中でも共有しながら、関係性ができている先生なり、大人がサポートしながら、子供たちの不安を解消していけたらと思いますのでご協力よろしくお願いします。

１５．関連して、学文路小学校と清水小学校が統合して、なおかつ、さらに西部小学校、橋本小学校とになれば、２回変わる可能性があるということで、環境の変化が１人の子供の中で、２回学校が変わるというところは考えていただきたいと思います。

（教育委員会）

承知いたしました。２段階で考えさせていただくとなりますと、２回変わると非常に負担がかかりますので、１０年スパンで考えています。

１６．関連して、それは子供の話ですよね。親も２回経験する家も出てくるだろうと思います。先ほどから、災害の観点からも統合するとかといろいろ言っていますけど、校区の選択肢というのを次の議題のときには、これも行けますというぐらいでないと、多分納得できない親は多いですよ。みんな用意ドンで学文路に行ってと、話していましたけど、そうじゃないと思います。選択肢をちゃんとしてほしい。子供も親もです。２回変わらないといけない親は出てくると思います。

１７．２２ページの学校再編のところで、目標年度の下に令和１０年度を目標に学文路小学校へと書かれていますが、決定をしていないと言われていますが、ここになぜ学文路小学校へと、決定しているように書かれているのかを説明をしてもらいたいです。

（教育委員会）

方針として施設の場所を教育委員会で考えているというところをお示ししたかったというのが意図です。決定ではないですが、先ほど申し上げましたように、大規模修繕を行っている施設の方へというところで、教育委員会としては考えていますということをお示ししたかった次第です。

１８－１．今後のスケジュールは、学文路小か清水小かという話し合いは、今後あるのですか。

（教育委員会）

今日は、学文路小学校へという形でお話をさせてもらっています。様々なご意見をいただきましたので、もう一度考え直させていただきたいところはあります。ただ方針としては、このような形を持っていますが、計画づくりまでには議論をしたいと思っています。指定校のことも含め考えていきたいと思います。

１８－２どちらかの小学校になるという決定は誰がされるのですか。

（教育委員会）

指定校につきましては教育委員会が、建物をどちらかというのは橋本市が最終決定いたします。

１８－３．スケジュールとしては、保護者説明会の後に地域説明会になっていますが、保護者説明会はこれで終わりですか。

（教育委員会）

保護者説明会が一巡してからから、地域説明に入っていきますが、もう一度させていただきたいと考えています。その時にはできるだけ、真摯にお示しできるように考えたいと思います。計画づくりは、令和７年度というところに点線で書かせてもらっているのですが、いろんな議論、対話をさせていただく中で、多少の時期的なずれといいますか、延びることは

あるかもしれません。

１８－４．もう１点ですが、学文路小の説明では、統合先は学文路小へという説明をされる予定ということですか。

（教育委員会）

同じ説明を学文路小学校の保護者にもさせていただきたいので、学文路小学校を考えていますという形で説明をさせていただきます。同じ形で説明させてもらって、意見交換をさせてもらいたいと思っています。

１９．この基本方針を作るまでに、いろいろ協議されたと思います。いろんな方の質疑応答で協議した結果と言っていましたけど、協議内容は一般公開してもらえるのですか。

（教育委員会）

少しお時間いただくことになりますが、説明会を開催し、ご意見をいただいたという形で、保護者が特定をされない形で公開させてもらいたいと思っています。

２０．個人的な話になりますが、清水小学校を卒業して、橋本中央中学校というのがすごく理想だと思い、昨年、家を新築しました。新築するにあたり、入居前に清水小学校に行かせていただきたいという旨を許可いただいて、すごく熱心に考えていただいたと思って清水小学校に子供を行かせています。そのときにもこの案は出ていたはずなのに、なぜ説明がなかったのかというところがすごく不思議です。家を建てるにあたってその相談をして、それで大丈夫と言われたので家を建てて、いざ、家を建てて１年経たないうちに清水小学校がなくなります。清水小学校の方針が良くて、清水小学校に行かせたくて、わざわざ地域外から引っ越してきて、清水小学校校区内に家を建てて、清水小学校がなくなるというこちらの身も考えていただきたいというのと、南側に学校を残したいという理由を先ほど聞いたんですが、お答えいただいていないのと、あと学文路小学校の生徒が、西部小学校に入るキャパはないのでしょうか。学文路小は西部小、清水小は橋本小という考えがないのか。人数少なくても南に小学校を残したい理由が明確でないので、納得ができないです。

（教育委員会）

ご提案いただいたことについては話をしています。その中で提案した方がいいのではないかということで、方針をこちらにさせていただきました。すいません、余計なことを言ったかもしれませんが、なぜ河南に残したいかというと、やはり学校はコミュニティの中核拠点であるので、当然、清水小学校には清水小学校のすごいところ、歴史や文化、地域との協働があるので、おっしゃられたことは、本当に私たちも親身にきます。なお、基本方針に明確にないことを申し上げて混乱させてしまいました。

２１．今いる場所からすごくいいところに移ってくださいね、と言われたら喜んでいくと

思います。学文路小学校が悪いとは言いません。災害面とか、心配しているのは本心です。建物の工事はしたとは言え清水小学校より古いですよね。他の方からご意見ありましたが、入口が狭い、駐車場がないなどいろいろ考えたら、やはり、ここの小学校が安心で行かせたいという小学校に移ってくださいと言われたら喜んで行きますとなりますが、今の説明だけでは、学文路小学校にすごく行きたいとは思わないです。お子さんもいらっしゃる方もおられると思いますが、自分の子供さんが、いい学校に移ってくださいと言われたら、喜んで行かすと思うのです。でも、自分がそこに行って大丈夫かな、不安かなと思っているところに行けと言われても、わかりました、もう社会のこともありますし、皆さん必死で考えてくれているのでいいですと、そうやすやすとは返事できないです。

先ほどから、いろんなご意見ありますけど、納得できないまま、学文路小学校で決定しているみたいな、正直僕らもこれ決定しているみたいな感じで聞いているんです。どちらに検討しますの会ではないというのが本当に残念です。

（教育委員会）

ご意見をいただきましたので、次の説明会のときに説明できるようにしたいと思います。

２２－１．今のちょっと意見踏まえてなんですけど、来週、説明会があるってことなので、学文路小学校へというところですが、これまだ決まってないということを言われたので、清水小か学文路小かとしないと、誤解を招くじゃないかなと思うのですが、その辺どうですか。書面上です。

（教育委員会）

説明資料としては、同じような形でいかせていただきたいと思います。ただ、先ほど清水小学校でこういう意見があったというのを言ってくださいということもありましたので、資料については、このままでいかせていただきたいのですが、先に説明会した中で、こういったご意見もありましたというのはお伝えしたいと思います。

２２－２．変更できない理由を皆さん理解できるように説明してもらっていいですか。

（教育委員会）

ここでなかなか資料を変えて、清水小学校と学文路小学校の保護者さんに異なる説明をするというのが、やはりその方針を定めた後なんで、私たちとしては同じ説明をさせていただきたいと思っています。その中で意見交換をさせていただきたいと思っています。

２３－１．意見交換会という保護者説明会という名目でしていただいているので、私たちの意見としては、学文路小と明記されていることは、実際、この資料を見たときに学文路小学校なんだと思ったんです。多分皆さん同じだと思います。この資料を学文路小でも提示をすると、学文路小学校の方からすれば、今までどおり子供たちを同じ小学校に通わせるので、やはり清水小学校の保護者、子供たちとは思いが違うと思うんです。なので、今ここ

で学文路小と清水小の両方を明記してもらいたいということを、実際にまた検討しますと言われているのであれば、この資料を変更することは可能であるし、意見交換会なんでここではできませんと言われるのは、少し違うのではないかなと思いますがいかがでしょうか。

（教育委員会）

同じスタンスで意見交換をさせていただきます。言葉では説明させていただきますが、資料としてはここと違うのを出しにくいところが正直あります。同じ資料で行かしてください。

２３－２．保護者が説明会に出られるわけではないです。なので、資料だけ目を通す方もいらっしゃると思います。そういった方にはそういった説明、言葉での説明はできないので、やはり資料というのは、お話されたことと資料内容に相違があってはいけないと思います。なので、ここに清水小学校という名前を追加していただくことが大切だと私は思いますがいかがでしょうか。

（教育委員会）

筋をとおしたいなっていうのは正直ありますが、おっしゃっていただいたこともあるので、一旦、私どもは同じ資料で行かせていただきたいのはありますが、考えさせてください。

２４．清水小学校と学文路小学校の統合の案で、説明会・意見交換会だったと思いますが、それでしたら、ここに校区の地図とか、ハザードマップとか、そういったものもあってしかるべきではないかと思います。次も学文路小学校とか他の学校でも話があると思いますけど、その学校に沿った資料をつけて、こういう理由で学文路小を選びました、そういったところを記載していただけたら、もう少しスムーズに意見というのも出ると思います。そういうのが全く無く、学文路小学校へと一言書いているだけでは納得できないじゃないかなと思います。以降の説明で工夫していただけたらと思います。

（教育委員会）

ご意見ありがとうございます。

２５－１．私たちは学文路小学校へとなっているから真剣に議論していると思うのです。これが学文路小学校の方が学文路小学校へと書かれていて、そこまで慎重に話が進むのかと思います。例えば、学文路小の方に清水小学校へという議題で話し、清水小学校に学文路小学校へという話をして、僕らの意見、なぜ変わるのが不安なのか、学文路小の方も清水小に行くとなったときの不安とかの意見は多分出てこないと思います。学文路小がそのままだと、清水小へ行くとなったときに親御さんがどう思うかって無いんです。この資料がもう学文路小一択になっているんです。

今、検討していただけると聞きましたが、これが、もし清水小となった場合、学文路小の

方は相当怒ると思います。教育委員会は相当ご苦労があると思いますが、これが清水小に変わったときには、相当怒ると思います。ご自身たちの保身も考えて検討したほうがいいと僕は思います。これをしないのであれば、おそらく教育委員会は学文路小一択だと思っていると思います。清水小になったときの流れがないのです。もしかして検討していただける？それで資料の変更をお願いしても、変更はできない、時間の問題とか、この資料を作るにあたって、いろんな人の許可がおりないと駄目というのはわかりますが、じゃあなぜこの資料を、提示しているのというのがすごく疑問です。もうこの資料がここにきてる時点で皆さん思っているんです。学文路小一択だと。これは正直もう検討の余地なしと。だからこれだけみんな必死なんです。

学文路小の人も同じように考えてもらいたいと思うんです。この資料だと、学文路小と決めているから、この資料になっていると感じました。こんな大きな出来事なので、そう簡単に決められることではないと思います。すごく練って、すごく考えてやっていただけていると思いますが、学文路小一択で、学文路小にするか清水小にするかの検討会ではないですね。

資料を変えないのであれば、学文路小の説明会に清水小の保護者、地域の方が参加することができるのかというのを聞きたいです。

（教育委員会）

学文路小学校の保護者には、説明の内容は本日と同じで考えています。対象も保護者をまずという形でさせてもらう予定です。

２５－２．学文路小の説明会に清水小の保護者が参加することは可能でしょうか。どういう説明をしているのか、清水小の思いを伝えているのかというのを聞くことができるのか。できないのであれば、この資料からの学文路小の説明会で僕らの思いを伝えるという信用性がちょっとないです。

（教育委員会）

学文路小学校の保護者、ＰＴＡ会長に了解をいただいた上で傍聴をさせていただくことは可能ですか、というお話をさせてもらうことはできると思います。

２６．今回の統合で８校を説明会で回ると言っていますが、多分その８校の中で一番シビアに考えているのは清水小学校の保護者だと思います。２回も統合して小学校を変わるというのは、清水小学校だけなので他の小学校よりも、多分私たちすごく真剣に受けとめています。質問は、清水小学校の耐震はもう駄目なのかっていうこと、意見としては、４校が合併したときに、先に橋本小学校に合併できないかという意見もありましたが、この９ページのグラフを見てみると西部小学校はまだかなり人数が多そうなので、４校合併というのはすごい遠い未来の話に見えてきます。高野口も家がすごくたくさん建ってきて、その隣にある西部はどんどん家も建ってくるのではという私の憶測です。そうなると４校合併

というのは不確実なのではないかと思ってしまいます。それだったら、橋本小学校が令和１２年に令和６年よりも５０人ほど少なくなるのは確実みたいなので、５０人ほどの清水小と学文路小はそっくりそのまま入れるのではないか。だから、西部小は少し後でということで申し訳ないですけど、清水小と学文路小だけが入れるキャパが橋本小学校にできれば、そこで３校統合するというのは、いいのではないかという意見です。

（教育委員会）

実際、その話は事務局の中でしたこともあります。ご意見いただきましたので持ち帰らせてください。

２７．知人で本来ならば清水小学校に通わなければならないのに、橋本小学校に通っている子がいます。それは、きょうだいのところに住所を移したというようなお話だったと思いますが、もし、学文路小学校に統合するとなったときに、例えば、保護者は橋本小学校区内に住所を移して橋本小学校に通うという選択肢はあるのかということと、そうなった場合に、学文路小学校に行く児童数が減ります。そうしたら学文路小に統合するという意味がなくなってしまうと思います。そうであれば、学文路小と清水小は統合しないというのも１つだし、それか橋本小学校を選べるとか。２回統合となるのであれば、最初から橋本小学校に行くことが認められると思います。ならば最初から橋本小学校に統合することはできるのではないでしょうか。

（教育委員会）

それぞれお子さんを校区の学校に通わせておられると思います。これは学校教育法の施行規則で、市町村はそれぞれの学校の校区を決めることができるとなっており、保護者は、決められた校区に原則通わせるという規則になっています。それで皆さん清水小学校にお子さんを通わせているのですが、その中で、特別な事情がある場合はこの指定校を変更することができると定められています。例えば、中学生だとクラブ活動あります。特別に自分がやっているスポーツのクラブが自分の校区にない場合、そちらへ行きますよということで許可が下りる場合があります。その他にも、あってはいけないことですが、例えば学校に馴染めない等の理由がある場合、認められた場合には、別の学校に転校するということで指定校を変更することができるということになっています。そういう特別な理由というのがあります。ただ、今回のこの再編にかかっては、その辺の特別な理由とするのか、今後協議をした上で、その特別な事情になるのかどうか、それがはたして法に触れていないかどうかということを検討し、決めていきたいと考えています。後半部分については、対象校全部の説明会を回り、いろんな意見をいただく中で、教育委員会で議論したいと思います。

貴重なご意見ありがとうございます。

２８．学校には決められたところに行かないといけないということでしたら、清水小学校の人たちには、向副の子供さんも多いと思います。明らかに橋本小学校を越えていかない

といけないので、それだったら選択して橋本小へ行きたいという親御さんが、何名いらっしゃいますとか、うちも清水小学校へ行くのと橋本小学校へ行くのは、ほぼ同じ歩く距離です。それだったら橋本小へ行こうかな、もしなくなるのであればで思うんです。そういった人数を、今後アンケートを取る予定とか、反対に統廃合を学文路小がもし清水小になったときに、清水小までだったら橋本小へ行くよりは歩かないといけないけど、橋を渡らなくていいから安全なのでこっちを選ぶよという人がいる。反対に橋本小まで送っていこうと思いますという人がいる、というアンケートを取る予定はあるのですか。でないと、いざ統合しました、学校がなくなるのはやむを得ない事情ですよね。それをこう変えて欲しいという人がいっぱいいたら、まさに意味ないと思います。

（教育委員会）

保護者さんのいろんな個別のことも含めての、意見を聞かせていただき、何らかの形を考えさせいただきたいと思います。

２９－１．少し戻らせてもらいますが、清水小と学文路小の統合するメリットは何か。

（教育委員会）

現在、清水小学校は、良い教育環境にありますが、さらに一定の規模を児童生徒の確保をさせてもらって、さらに教育的な多様なニーズを整えたいということです。

２９－２．多様なニーズを整えたいと言って９人になるという。うちは１年生なので、７人が行って２人足して９人になったときに、そのメリットの答えではないんです。無理やりでも学文路小で進めていこうと。僕らは清水小なら嬉しいので文句もでないんですが、この良さとか、その一方でと、１７、１８ページに書いてある説明と、清水小・学文路小統合したところでの人数と何も変わらないのです。欲しい答えじゃないですよ。

多様性とか、他の方はどうですか。ずっと教育部長さんが答えてくれているのですが、メリット・デメリット、清水小と学文路小が統合した人数をもって、どう考えていますか。

（教育長）

ご指摘いただいていることについては、２校が一緒になっても、それぞれの学年が１クラスの学級になる。その中で、２クラス以上がいいと出していますので、ここと矛盾します。

対象になっている橋本中央中学校区の学校は、清水小、学文路小、そして橋本小、西部小で、他の学校についても１クラスの学校だったりということで、私たちが目指してるところには、なかなか２つの学校では一緒になっても、そこのところはならないという状況があります。一番できたらいいと思うのは、一度にできたらいいのかもわからないのですが、４校が一緒になるということについて、やはり、今ある施設を使ってのキャパというのもあります。そこへ４校を一緒にしてしまうということについては、かなりの負担がかかるのではないかなと考えたんです。

２９－３．４校というのは、先ほどから何名もの方も言っていますが、西部小を抜いた３校で進めていってもいいのではないかと。

（教育長）

先ほどからいろんなご意見いただいています。私たちとしては、それぞれのところが同じように物を考えていけるような形を作った上で、一緒にしていくことができたらと考えていたのですけれど、皆さんのご意見を聞かせていただく中で、私たちも内部で議論する中で、いただいているようなケースというのは考えつつ、進めていた部分もあります。皆さんのご意見、考えを聞かせていただいて、他の地域の説明会でもご意見いただいた後に、どうしていこうかということについては、ご指摘いただいているところでは課題解決になりませんので、ならないということは、私たちも認識していますので、課題解決できる形というのが、どういう形があるかというのは、考えていけたらと思います。

２９－４．新１年生で９人、本当かどうかわからないけども、清水小でも出生率ゼロの年があると、その子たちの学年上下、人数少なかったら２校統合しても複式学級とかですよね。なんかそのメリットの話でも全然違うし、だから、そういうふうになるのだったらって、みんなそんな話になっています。そしたら、たいしたメリットはないという話ですよ。清水小・学文路小が統合になったところで。多様化というメリットもなければ、ただただ子供の負担が増えます、親の負担も増えます。そういったデメリットの方が目立ってしまいませんか。

（教育長）

おっしゃっていただいているところについては、そんなふうに私たちも思っている部分あります。

２９－５．それを思ってくれているのですね。皆さん総じて思ってくれているのですね。ここに出席している皆さん総じて、メリット・デメリットの中で、デメリットの方が大きいなというのは思ってくれてはいるのですよね。

（教育委員）

この議論をさせてもらったときに、清水小学校のことも大事ですが全体的なことを考えたときに、少人数の学校も橋本市には必要だなと自分自身の考えでは思っていて、それも選択肢の１つだと思います。いろんな統廃合の意見が出て、同じように進めていく中で、小規模校、そういった役割も担える学校かなと思うので、個人的には小規模校という意味でこの形でもいいのかなと最初は思ってきました。今日、皆さんのご意見を聞かせてもらったので、それも踏まえて考えたいと思っています。

２９－６．保護者に説明は用意して、意見するけども、これだけ人数おりながら、何名、今マイク持ってくれようとしていますか。メリット・デメリットをどうなんか、こうなんか、

小規模学校、僕らも思います。小規模の学校に来ているので、縦があるので１年生から６年生まで遊べる学校なのでええなと思います。何か答えてくれる方いませんか。いないならもういいです。

３０．今、検討の中の１つと言われたんですけど、それは市の方の意見であって、清水地区の保護者は、清水地区に小規模学校を残して欲しいと思っている人がたくさんいるとは限らなくて、その意見の中でもやっぱり、もうどうせ統廃合するのだったら１回で橋本小にという意見の方が多いので、その市の意見で検討という話ではなくて、実際にこれから行く保護者、児童のことを考えて検討してもらわないと意見交換会になってないなと思います。

（教育長）

多くの方がそう思っていただいているということを聞かせていただきました。私としては、そういった意見を聞かせていただくことが、すごく大事だと思っています。かなりいろいろと議論した上で、方針として示させていただいているのですが、私としても、これは行政的に考えて、こういう示させてもらったのがすべてではない。だからこそ、このように意見交換会というのを持った上で、意見を聞かせていただくという姿勢を持っています。ただ、目指したいところは何かというと、子供にとって健やかな成長に繋がる形は何かということ、それはしっかり考えていきたいと思います。今いただいたご意見というのは、しっかり受けとめさせていただきたいと思います。

３１－１．いろんな意見が出たと思います。学文路小に行くのか、清水小に行くのか、橋本小に行くのか、学文路小と西部小が引っ付いて、清水小と橋本小が引っ付いてみたいな、いろんな意見が出て、持って帰り検討しますというふうに言ってくれていると思いますが、それはいつ、どの段階で検討して、何を決めて、どう進んでいくのかなというのはすごく疑問です。もし学文路小が西部小にということが検討されたら、今度、また西部小にも説明会を開いて、また意見交換会をしてみたいになってくると思いますが。２２ページ、今後の進め方を見ていたら、今は多分（１）保護者説明会・意見交換会だと思うのですけど、今日出た意見は、どこまで検討してから、この（２）（３）になってくるのですか。どうなって、どう進んでいくのですか。地域に説明する前に、まず検討してから話をするのですか。

（教育委員会）

保護者説明会を、対象校回らせていただいて、それぞれの学校からいただいたご意見をまとめて検討はします。まず、現役の保護者さんとしてのご意見、それから、また来年以降１年生に入ってくるお子さんの保護者さんもいらっしゃると思うので、そういうことも含めてまずさせてもらいます。地域は地域でまた意見を聞かせてもらってという形でと思っています。

３１－２．じゃあ、どの段階で検討するのですか。結局、１、２、３全部やってから検討するのですか。

（教育委員会）

１、２、３それぞれで検討はさせてもらうのですが、また総合的にさせてもらいます。

３１－３．総合的に考えた結論は一体どこで出すのですか。

（教育委員会）

この保護者説明会は、今日だけで終わる予定ではないので、もう１回させていただきますが、一度回らせていただいて、いただいたご意見を踏まえてこう考えていますとか、やはりこういったところ柔軟にしたいですとかというのをお示しできたらと思います。２回目のときに１回まわらせてもらった全体のことを踏まえて、可能な限りもう１回私たちは今このように考えていますというのを、次の段階で提案、提示させてもらいたいと思います。

３２．個人的な意見ですけど、ここぐらい意見が出ることはないと思います。他を見ていると、大きい小学校に小さい小学校が行くみたいなになってくると。多分、人数少ない小学校に通っている人からしたら、しょうがないなみたいな、これだけ人数が少なかったら統合もしょうがないなと。例えば、恋野とかすごく少ないし隅田に行けるのだったら、そうなるだろうと多分思うと思います。でも、ここ清水小と学文路小は、今のままいけば２回統合することになったりする、ちょっとややこしいじゃないですか、同じような規模の学校が引っ付く、どっちの校舎にするのかみたいな、すごくややこしいことになってくると思うので、ここが一番大変なのかなと思います。

私も自分の小学校が合併したのですけど、合併するって、自分が子どもころの結構大変だったんですよ。すごくストレスフルというか、交流行事とか、なんやかんや行ったりして、あれを子ども大変だし、親も多分大変だと思うんです。それが２回続く家庭も出てくるとなると、やっぱりもう少し慎重に検討した方がいいんじゃないかな。どうせ人数が減ってくる、橋本小の人数が減ってくるし、どこも人数減ってくるのだったら、橋本小が学文路小も清水小も受け入れるようなキャパになったときに一緒に行くとか、やっぱり何か場所も転々とするというのは、子供も保護者も先生方も結構大変なことじゃないんじゃないかなと思うので、それをしっかり検討していただいて、検討した結果を説明会で聞かせていただけるとありがたく思います。

（教育委員会）

承知いたしました。ありがとうございます。

３３－１．今後の進め方のところでお伺いします。パブリックコメントは何に対するパブリックコメントになるんですか。

（教育委員会）

仮称橋本市の新しい学校づくり推進計画といいまして、統廃合のいわゆる時期を計画とする前の、いわゆるたたき台の素案になります。

３３－２．この（１）から（３）の説明会の結果を踏まえ素案を作って、それをパブリックコメントにかけるということですか。そのパブリックコメントが終わったら、またそこで多分意見が出てくると思いますが、それも踏まえて、最終確定の推進計画というのができるということですか。（３）の関係者説明会というのは、どなたを対象にした説明会になりますか。

（教育委員会）

そうなります。関係者は、例えば、学童保育の関係者であったり、学校運営協議会の方であったりという、携わっていただいている方になります。

３３－３．もうここ数ヶ月の間に、この（１）（２）（３）はしていただくという形になるのですか。この推進計画策定というのは、来年度に作ろうと考えてらっしゃるということでしょうか。

（教育委員会）

そのような形で考えています、可能な限り回らせてもらいたいと思っています。策定の時期は、いろんな意見を交わさせていただいて、今日も沢山いただいたので、来年にまたがってしまうかなというのは正直あります。今のところは６年度の終わりから７年度という予定ですが、少し考えることがいっぱい出てきそうなので、この時期はずれるかもしれません。７年度にまたがるというところはあります。

３４－１．これからいろいろ検討していただけると思いますが、先ほどからも出たんですが、この２１ページの小学校の再編のところ、どうしてもやっぱりこれ変えれないみたいな感じで学文路小学校へと書いてある部分を、絶対変えられへんからこのままいくという感じですが、何か清水小の保護者からしたら不公平感が出ると思うので、平等に同じように話し合いを進めていただけるんであれば、ここを消すとか、学文路小学校へというところを未定と書いてもらうとか、やっぱり皆さんも言われたんですが決定事項に見えるので、何か平等じゃないという気はしますけど対応していただけませんか。

（教育委員会）

意見をいただいたのでちょっと考えさせてください。

３４－２．学文路小学校の説明会はいつですか。それまでに検討して、学文路小学校へと書いたのを未定とするとか、消すとかした、という検討の結果を会長さん、学校の方に報告していただけますか。よろしくお願いいたします。

（教育委員会）

学文路小学校は、６月１日の午後１時から予定しています。結果を報告させていただくよう考えます。

３５．先ほどの質問された方の続きになります。学文路小学校へというところを、未定と書くかどうかというところで、検討し、結果を伝えると言われていましたが、その検討の結果がこのままです、という結果で皆さん納得されるのか。それだったら何の意味もないと思うので、そこがどうなのかと、皆さん一番知りたいところと思います。その結果、このままいきます、と説明されて、納得をされるのだったらいいのですが。そこら辺はどうなのですかね、皆さんにも聞きたいですし、それでいいのかどうか。その回答の結果をさらに検討の余地があるのかどうかとか、そこら辺がやっぱり、その決定で、学文路小へといきます、ということで納得されるのかどうか、全員に確認していただいてもいいんじゃないかと思います。どういう方法で結論出るのですか。

（教育委員会）

資料の明記につきまして、このままの資料で行きますとなっても、納得いただけないのはわかりますので、ただ、私一存でこれを消しますと言えませんのでそこだけご了承ください。できるだけ早いうちに、校長先生、ＰＴＡ会長さんに、このような形の資料にさせてもらいたいと思います、という返事をさせていただきます。考えさせていただきたいと思います。

教育委員、教育委員会内部で、この資料のあり方、出し方を検討させていただいてからになります。

（教育長）

いただいている意見というのは、そのまま向こうへ持っていくと議論が同じようなレベルで語ることができないのではないかと、そういうようなことだったと思います。私たちの方針としては、こういう形で決定をした上でお示しさせていただいて、今このようにこの資料に基づいて説明させてもらいました。方針は方針として、このように示させてもらったのですけれど、これがいろんな説明をきちっと加えた上で説明できたら、その意図というのは伝わるのかわからないのですけれど、紙だけでいってしまう場合もある、そのときには、全然その意図というのは伝わらないと、意図を伝えるというところが一番大事なことと思います。意図が伝わる形でここは表現させてもらえるように、それをどのように表現するかというのは少し検討させて欲しいのですが、意図が伝わるようには表現させていただきたいと思います。了解いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

３６－１．この案件というのは、市長さんとか市議会議員さんとかというのは関わっていないのですか。教育委員会さんだけなのですか。

（教育委員会）

この基本方針の内容につきましては、市長にも報告してございますし、市議会議員にも委員会がありますので、趣旨の部分を報告させてもらってあります。

３６－２．これは市議会議員、市長等がＯＫを出した案件だということでいいですか。
（教育委員会）
ＯＫといいますか、教育委員会の方針を知っていただいているという状況になります。

３６－３．その地域の人たちにこれで説明して、これを推進していきます、変なところないですかとか。例えば、こういった問題が起きないでしょうかとか、市議会議員は僕らが選挙で選んで、僕らの代わりに話してもらう人を僕らは選んでいるのです。その人たちがＯＫを出しているのであれば、選んで僕らの責任だと思います。僕は選挙ってそういうもんやと思っているんです。僕らの代わりにやってもらうから市議会議員さんであったり、市長であったり選ぶわけで、その例えば、適当に選んでいる人が、国の財政が駄目だとか文句言ってたら、あなたが選んだ人間だろと、僕は心の中で思っているので、その議会の人が、この話に対して、それだったら正当ですよ。その話で地域の人たちに説明してくださいってＯＫ出しているのであれば、もう僕らは選んだ市議会議員さんと話をしたいだけなので、教育委員会さんにはこれ以上はもう言わないですけど、そこはどうなのかを明確に教えていただきたかっただけです。
（教育委員会）
本日の説明会は、教育委員会の責任でさせてもらいますので、内容そのものを市議会議員に賛同いただいて説明会をさせていただくという状況ではございません。教育委員会の責任で、我々が第２期基本方針の中身を説明させていただいているところです。
（教育長）
議会には承認とかではなくて、報告事項としてさせていただいています。その報告をさせていただいた中で、市議会議員の方々にもご意見を賜っています。それで一番大きかった意見としては、しっかり対話するということ、すなわち、時間をかけて慌てずにしっかり取り組んでいって欲しいという、そういうことは言われています。この内容については承認という形ではなく、報告という形でさせていただいています。すごく個別の意見についてはいろんな形でいただいていますが、しっかり対応していくということ、じっくり時間かけてでもやっていきなさいということは、かなり多くの方々からいただいていることはお伝えさせていただきます。

３６－４．わかりました。すごく大事なことだと思いますので、僕らの今日発言させていただいた意見等も落とし込んでいただきたいと思います。それに対してどういう意見が委員さん、市長さんから出てくるかというところの確認もしっかり取ってください。一番初めから言っていますけど、学文路小学校と統合して学文路小学校に行くメリットというのを次までにしっかり考えて、伝えいただけないでしょうか。行きたいと思うように説明していただかないと納得できないと思います。

僕も初めてＰＴＡの役をさせていただいていますが、今までさほど小学校のところに仕事上、手を加えられなかったんですが、こういった大きなことでもありますし、初めて真剣に考えたのかなとも思います。すごく大変なことだというのもわかりますし、教育委員会の方々がすごく大変な思いをして考えてらっしゃるのもわかります。そう簡単ではないということはわかっていただいていると思うのですけど、再認識していただいてご検討いただけたらと思います。本当によろしくお願いいたします。

（教育長）

ご意見ありがとうございます。議会にも、３月にそういった報告させてもらい、できる限り議会あるごとに報告させていただきます。私たちとしたら報告させていただいたときに、直接いただいたことを、しっかり捉えた上で対話をしながら、じっくりと取組んでいきたいとそれが私の思いとして話したことです。

校長会については全く触れていませんでしたが、やはり学校をそれぞれ管理、運営していただいている校長先生にも、前もって私たちの考え方を説明させていただきました。やはりかなりタイトな日程の中で進めていくということには、難しさがあるということを。

私も元々教員をしておりましたが、それぞれの学校で、できるだけ子供たちにとってプラスになるような教育をしていこうと考えながらやってくれています。その学校がなくなることに対する思いというのも、校長先生はお一人お一人持っておられます。そんなことを聞かせていただきました。進めるにしても、しっかり対話をすること、そして、子供たちのことを第１に考えること、慌ててしていかないこと、その辺りのことを言われております。

私たちとしては、そのことを踏まえた上で今回の方針ということでお示しさせていただき、ご意見をいただこうと、このような形で説明に来ているところです。けれども、その中で、私たちが示したことを、何が何でも進めていこうということではなくて、対話をしながらやっていくということは、お約束させていただきたいと思いますし、先ほどいただいたご意見については、本日は土曜日なので週明けにでも私たちの方で検討して、できるだけ早い段階でお返しさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

３７－１．議論を月曜日からされるということですが、この学文路小学校へという内容を消すというのが無理だったら、もう２つしかないかなと思っていて、学文路小学校か清水小学校と記入を変えてもらうというのが１つの議論になると思います。この学文路小学校へというのを決定していないのに書くということが、皆さん納得されていない方が多いと思うので、それ決定しているとなったら、それは仕方ないと思いますが、それまだ理解できない部分もあると思うのです。この段階で絞っておくというのは、ほとんど理解できないと思います。なので、学文路小学校へということで明記することに統一しましたと言われても、それは、声を反映されてないのと違うかなと思うのです。その結果が帰ってきても、おそらく意味がないと思うので、検討を再度すれば、清水小学校もしくは学文路小学校へ統合ということかなと思います。結果的にそうなりましたというのは、今日の時間、多分ほ

とんどここに問題があるのかなと思うので、せっかく２時間半以上もここで座って、結局無駄な時間になってしまいますし、その辺の議論の内容というのは、どうされるのかというのと、いつ誰に報告されるのか、保護者にいつどう伝わるのか、来週の１日に学文路小で説明会があるので、そこでまたこちらが何かアクションを起こせる時間があるのかというのもあるので、スケジュールと議論する内容を、ここで統一しといた方がいいのかなと思います。多分皆さん一致しといた方が、後でまた、大変になってしまうと思うので、ここで議論する内容と、いつまでかというのを決めたほうがいいのかなと私は思います。

（教育委員会）

先ほどと重複するかもしれないですが、この資料が独り歩きしたときに感じる決定事項ではということ、決定として認識されてしまう可能性があるので、その部分を週明けに議論したいと思います。今日は、お話をさせてもらってから、そういうことになると認識いただいたと思います。今日欠席された方とか初めて見た人が、そういうふうに思ってしまうというところがあるので、表記についてそういう視点で考えたいと思います。

３７－２．どういった手段でいつまでに連絡が来るんでしょうか。

（教育委員会）

今思いますのは、清水小の校長に連絡をさせていただく、もしくは会長さんの連絡先を教えていただいて、私から連絡させていただくとかという形を考えます。遅くとも火曜日にお返事させていただきたいなと思います。

３８．清水小学校で、保護者へのメールというのが送られるシステムがありますので、回答の方は書面で校長先生に送っていただくのと、お電話での早急なご連絡をいただくというのと、それを保護者の方に発送、メールでの送信していただくという形で連絡をしていただきたい。もう１点、日程がかなり少なくなってくると思いますので、こちらとしての意見で言うと、学文路小学校のままでいくのであれば、学文路小学校の説明会はやめていただきたいです。それを突き通すのであれば、また、ちょっと大きな問題になるかと思いますので、その辺は検討していただいた上で決定していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

（教育委員会）

承知いたしました。改めて、保護者説明会の方を、ＰＴＡの会長さんと調整をさせていただき開催したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

説明会に出席していただいた保護者の皆様から意見書に記入いただいた意見、並びに欠席された保護者から提出いただいた意見の内容です。

３９．意見交換会でいただいた資料では、広報（５月号）に記載されている、できるだけわかりやすい資料とはかけ離れた内容かと思います。そもそも、統合の話を進めなくてはならない本当の理由は何なのでしょうか。文科省からの指示でしょうか。施設の老朽化に伴う修繕費の問題でしょうか。教職員の確保に関する問題でしょうか。

意見交換会で話のありました、耐震補強済みで学文路小学校（決定ではない）と記載されたとおっしゃっておりましたが、橋本市学校施設長寿命化計画にも記載がありますが、大規模改修を行った記載はありますが、耐震補強とは記載がないのですが、実際はどうなのでしょうか。

小規模認定校の話も資料には記載がなく、統合を進める話を説明されたようにしか感じませんでした。文科省からの適正化配置指針も２０１５年から新しくされていない状況ですが、少子高齢化がより一層加速する中で、少人数でより良い教育を模索するべきではないでしょうか。一旦統廃合により人数が多くなったとしても、いずれ新興住宅地は、一旦は増えたとしても減少に転じるのではないでしょうか。

部活動の取組ができないのであれば、クラブ活動のみ合同で実施する等の検討はできないものなのでしょうか。

橋本市が目指す学校づくりに記載がある、目的①「一定の集団確保」および③「単学級解消」は、いただいた資料に記載の学文路小学校との統合では不可能であると思いますし、私が在学していた当初からほとんどが１学年１クラスです。先日の授業参観でも、複式での初の授業参観で、どのような感じになるのか心配でしたが、授業も生徒同士で話し合って進行させ、全員に意見を求め、活発に行われておりました。１人２人では無理なのではないかと危惧いたしますが、それ以上の人数では問題はないと感じました。

目的②「教員数を増やすことで、教員の資質向上を図る」は、資料に記載の学文路小学校との統合では実現不可能と思います。１５学級ある小学校は現時点でも存在せず、統廃合しても人口減少と重なり現状維持がやっとではないかと思いますがいかがでしょうか。

昨今ではオンライン授業等も可能であると思いますし、先生方の交流も可能ではないでしょうか。

アンケート結果をもとに適正規模・適正配置の理由付けをされていますが、適正規模・適正配置に関して、６割が特になしとの回答をしているにも関わらず、２割のアンケート結果のクラス替えができないことを引き合いに出すのはどうかと思われます。

そもそもの通学区域ですが、純粋に住まわれている場所での児童数はどうなのでしょうか。知り合いの方でも、区域を越えて多数、橋本小学校へ通わされている方がいる現状です。

防災面からですが、土砂災害警戒区域に清水、学文路両校が入っている状況で前の道路

が冠水する恐れがある学文路小学校を資料に記載された理由をお聞きしたい。
　現在も避難受け渡し訓練等を実施いただいておりますが、統合の案で問題なく引き渡しが可能と考えられていますでしょうか。
　河南に小学校が必要ともおっしゃられたかと思いますが、特段の理由もなく一旦統廃合を進めて残しておきたい理由と、清水小学校だけでも先に統合させるなど、こちらからの意見では、そういう話も検討されたとおっしゃっていましたが、結局、学文路小学校との統合をまず実施する資料を提案された理由は何でしょうか。
　統廃合はある一定までは仕方のないことだと思いますが、資料に記載されたからには、選定された理由を各校ごとに記載していただき、子供や保護者の立場に立ってご説明いただきたいと思います。
　ご提案ですが、いっそのこと市内の全小学校を統廃合し、お金がかかっても１校にすれば今後想定される統廃合もなくなると思いますがいかがでしょうか。

４０．統合は仕方ないと思いましたが、説明を聞いて、なぜ学文路小学校なのかと思いました。他の人の発言と同様、望ましい学校規模にならない統合を進める意味が理解できません。
今年の夏には、清水小学校舎の改修工事もあり改修はありがたいことですが、５年後に統合するとして、この改修は５年以上有効に使えると思うので学校の選定基準もわかりません。
　説明会の意見がとおり、統合先の学校を未定にして下さったなら、もう一度、時期や統合先の検討を説明会の意見を元に考えてもらいたいと思います。
　清水小学校生活をして思うことは、人数は少ないですが、地域の方の協力もあり、農業体験も多くあり、縦割り班での行動、学年のチームワークなど、少ないなりの良さも実感しています。

４１．要望を聞いていただきありがとうございます。記載していると、学文路と清水とでは、この件の重みが全く違うと思います。
　清水小学校は本当に良い学校です。生徒も学年関係なく、みんな仲良く、上級生は下級生の面倒をよく見てくれ、先生方の配慮も素晴らしく、そして地域の方との交流もあり、周りからも温かく見守られているので安心して通わせることができます。
　学文路小学校も素晴らしいところはたくさんあると思います。ですが、清水小学校から学文路小学校へ行くメリットはあるのでしょうか。お互いの小学校のメリット・デメリットをしっかりと検討していただきたいです。
　橋本小学校へは歩いていける距離です。中学校も同じ敷地内です。正直なところ、橋本小学校へ行きたいわけではありません。清水小学校が親子ともども一番です。ですが、生徒数の問題は仕方のないことだと思っています。合併して、また合併を繰り返すより、橋本小学

校の受入が整ってから、清水・学文路の両校を橋本と合併させるのが一番良いのではないかと思います。何よりも、子供たちに負担なく楽しい学校生活が送れるようにを、最優先に考えてもらいたいです。これからも保護者説明会は何度もあると思います。１つの小学校が無くなるという大きいことです。是非とも市民の声を直に聞いていただきたく、市長のご出席をお願いいたします。

４２．まず予算など（災害対策）もあるので、教育委員会のみ来られても「持ち帰る」の返答しかなく困る。結局「学文路」へ統合の流れでの話ばかりで、その方向に持って行きたいのをただ濁しているだけに感じた。

そもそも資料が少なくて、各学校の校区もわからないまま話が進む。相手の学校のことを知って話し合った方がいいのでは。一回、各学校から学校へ実際に歩いてみてください。それぞれの家庭の思いを理解するには必要なことだと思います。机上の空論では困る。

４３．河南で合併するなら、河根や天見のように、特別な事情があって大きな学校に行くことができない子供が、校区に関係なく通えるような制度を設けるべきかと思います。その上で、河南の子は橋本小学校に通えるように校区変更してもらいたいです。

４４．最終的に橋本小学校への合併を考慮しているのであれば、橋本小学校が受入れられる状態になってから、一度の合併で済ませることはできないのか。学文路小学校と合併しても、１学年２組以上にならないため、望ましいとする学校規模にはならないのではないか。単学級・複式学級の良さがあると記述しているにもかかわらず、課題点のみを取り上げ「課題点を良い方向に転換したい」とすることで、単学級・複式学級の本来の良さが消えてしまうことは構わないのだろうか。今後の説明会の回数などが曖昧であった。一度の説明会では不十分な点もあるため、もう少し明確な予定を出してほしい。

再編後の小学校として、学文路小学校となっていた点について、削除要請があった時「検討する」ではなく、早い段階で「修正する」と返答してもらえれば、もっと説明会を短時間で済ませることができたのではないか。今後、清水小学校のトイレなどの改修工事があると聞いているが、もし合併が行われるのであれば、工事費がもったいないのではないか。改修するのであれば、今後も長く学校を存続させてもらいたい。

清水小学校・学文路小学校ともに、それぞれの校風や地域の方との関わり、良いところがたくさんあると思います。少子化や教師の方の負担などいろいろあると思いますが、児童たちは学年関係なく関わることができています。６年生は自然と１年生を気にかけてくれているし、思いやりの心が育てられているように感じます。方針などがあり、難しいこともあるかと思いますが、今の１・２年生の子供たちも清水小学校を卒業させてあげたいと思います。資料から学文路小学校という明記を削除していただき、ありがとうございます。検討、よろしくお願いします。

４５．望ましい学校規模を確保したいという目的のための、学文路と清水の統合であれば、現状の校区と橋本小学校の位置関係を考えると、学文路小学校という選択では規模が確保できないということが、今日の意見交換会の内容で理解いただけたと思う。

学文路小学校という既定路線ではなく、子供の安全と環境を第一に方針の決定を行っていただきたいと思う。意見交換会であれば、学文路小学校に案を決定した理由を説明する資料が無かったのが、非常に残念。

下の子どもの入学を決めるに当たり、本日の持ち帰った検討内容の結果を早期に出していただきたい。

４６．入学後すぐの晴々とした嬉しい気持ちの日に、親子共に学校再編の話を聞かされ、どのような気持ちになったかおわかりでしょうか。我が家は５年生に長男がいるので、どのような形でも清水小学校に通わせますが、中には上の子が１年生で入学したご家庭もいます。今年度になってからの発表で、授業参観の日に話されたのだと思うのですが、昨年度の下期から話をしていれば、橋本小学校を選べる家庭は、橋本小学校を選択していたのではと思います。かむろさつきこども園に、年中・年少組に通わせている友達は、地域説明会ではなく、次回の保護者説明会に、清水小学校に通わす予定の在園児保護者を集めて話を聞かせろ、と言っています。

清水小学校を、次男の６年生最後まで残してほしい気持ちは、親としてずっとありますが、児童数を見ると仕方がないです。だからこそ、統合で学文路へというのは反対です。統合が清水小学校側でないのであれば、橋本小学校へ校区を選択させてください。説明会で度々、多様化とおっしゃっていましたが、それこそが多様化ではないでしょうか。

４７．今後の方針を読ませていただき、統合を進めていくのは仕方のないことだと思います。ただ、統合するのであれば、子供たちにとって最善の策（負担がかかるのは大前提の中、その負担を最小限に）を取っていただきたいです。

今、ご提案されている学文路小学校への統合で、何か改善されることはあるのでしょうか。１学年２クラスの編成を目指している方針とかけ離れていると思います。統合のメリットとしてあげられるのは、教員の減数、費用削減のみだと考えます。もし、１学年２クラスを目標とするなら、橋本小への統合を進めていくべきではと思います。（学文路小学校も含め）段階的にと考えているのであれば、意味をなさないと思います。いずれにせよ、子供たちを振り回すことのないようお願いします。

４８．私は複式学級に対して反対の考えで、人数が少なく複式クラスになることが入学前からわかっていたため、それであれば合併をしてほしいと思い、市のアンケートにも記入しました。現在２年生で、複式クラスでなかなか授業に集中しづらく授業を理解できないと感じることが目立つようになりました。２年生の他の保護者からも同意見の方が多いで

す。その中でも頑張っているのに、６年生という小学校最後の年に合併というのは、あまりにかわいそうです。小学２年生の子が、６年生の合併構想に「いやや…」ともうすでに不安を感じる日々を送っています。本日の説明会で、Ｒ５ではまだ合併の話が決定していなかったと言われていたため、Ｒ６に話が決定したと考えると、Ｒ１０年の合併は子供たちの事を考えてくださる教育委員会のされることだとはとても思えないです。６年生になって、新しいお友達と運動会や修学旅行、卒業式、自分の子供がそうなった時に本当に納得できますか。

「未来を想像して」「子供が学校に行きたくなるような」など良い言葉を揃えても、実際、渦中の中にいる子供の意見に耳を傾けることもなく、今、不安の訴えに対するサポートは一体どこにあるのでしょうか。ゆっくり時間をかけて話し合って決めていきたいと言われていましたが、その間、娘はずっと不安な日々を過ごさなければいけないことを考えたことはありますでしょうか。やはり、入学の時に何の説明もなく、途中で「合併に！」と言われて納得できないです。複式をやめてくださるなら、今すぐ合併でも私自身は受け入れられますが、複式で最後の１年合併など２重苦をさせられる子供と親の気持ちを考えていただきたい。新１年生が入学するタイミングにこのような説明をされていたら、今ほど反対はでなかったと思います。タイミングが悪すぎると思います。合併は仕方ないと思いますが、新１年生の時までせめて時期を延ばすべきと思います。

４９．２年生の娘が４年後に学文路に統合した場合、１年で卒業し、橋本中学校に行くようになりますが、何かメリットがありますか。ただでさえ複式クラスなのに、交流を深めていく？いつから？次の新１年生から橋本小学校か学文路小学校に行くなど、転校することのない方法を考えていただきたいです。

清水幼稚園と学文路保育園の統合の時には、息子が１年だけさつきこども園に行きました。息子の戸惑いをたくさん見ました。児童の減少は、出生率でわかりきっていることで、把握できているはずです。新生児が学区の決まっている小学校に何人通うかはわかりますよね。現１年生が統合されて７人から９人になる。それで教育委員の方々は成果が出ていると思われていますか。保護者の意見も大切とは思いますが、子供たちはどう思っているか、耳を傾けていただきたい。娘が不安がっています。合理化をとおすならば、もっと違う方法があるのではないでしょうか。

Ｐ２２の（学文路小学校へ）という文言を消せないと言っていましたが、学文路の対応はこのままで納得させて、後は清水の対応をするだけという形にしておきたいからではないですか？子供たちの教育を第一に考えて、発言していただきたいです！

５０．学文路小学校になった場合、スクールバスの運行対象が通学距離２ｋｍ程度とありますが、私たちのところは１．５ｋｍ程で対象にならず、登校時間も距離も延び不便です。橋本小学校だと今と大きく変わらずに登校することができ、将来的にも子供たちの負担が

少なくなり理想的です。（４才の子もいてる為）
　皆さんの言っていたように、学文路小学校へ行くメリットが感じられないため、清水小学校へこのまま行けることが一番望ましいです。

５１．なぜ令和１０年が目標なのかということと、なぜ清水小学校の方を無くすのかということの理由が、あまりにも不明確すぎていました。今後、何を理由として提示いただいたとしても後付けの理由としか当然思えないので、到底納得いくものとは思えません。
　児童生徒への環境変化への対応という点で、何を具体的に考えているのかという問いに対しても漠然とした内容の回答でしかありませんでした。資料に一応、書いているだけという印象で、何も考えられていないと受け取られても仕方ないと思います。そのような方針に大事な子供たちを委ねられません。本当に子供たちのことを考えているというのでしたら、在学中の子供たちが統合時期の対象となるような目標は避け、近隣の未入学児をもつ保護者様方を対象にご説明をなさるべきかと思います。統合になる前提で入学するのと、選択肢のない状況で急に統合を知らされるのとでは訳が違います。
今一度、これは誰のための、何のための方針なのかお考えください。

５２．子供が５年生なのもあって説明会には参加しませんでしたが、６年前、清水幼稚園閉園の際に嫌な思いをしたので、どちらにしても参加はしなかったと思います。６年前、説明会という名の決定事項説明会で、市には不信感しかありません。
　矢面にたった市の方には気の毒だと思いましたが、平木市長が一度も話し合いに参加せず、幼稚園の閉園式ももちろん欠席、新しいこども園の開園式には参加したと聞いて「やっぱりな」と感じました。
　一点、気になるのは「学文路小へ」の文言です。市街地へのアクセス、車の出入りから言って、清水小の方が楽だと思うのですが、理由をはっきりさせて欲しいです。

５３．市が考える望ましい学校規模が１学年２学級以上であるならば、学文路小学校と清水小学校を統廃合しても２学級以上にはならないので、意味が無いのでは。将来的に橋本小学校に、というのであれば、段階を踏まずに、一気にしてしまった方が、市が考える２学級以上にもなり、度重なる統廃合による保護者の金銭的負担や子供の心の負担も少ないのではないでしょうか。橋本小学校に、現在それだけのキャパがないというのであれば、受け入れ態勢が整ってから統廃合するべきだと思います。
　環境の変化にすぐ順応できる子もいますが、そうでない子もいます。不登校が増えている今、子供の事を第一に考えて、もっと慎重に進めて欲しいです。

５４．説明会では「橋本市教育委員会が考える望ましい学校規模」や「取組むうえでの留意点」などについて説明いただきましたが、その考え方が橋本中央中学校区の適正配置案の

検討にどのように活かされているのかについて説明がありませんでした。

現学文路小学校の場所に統合する案についての検討プロセスを説明せず、保護者からの質問に場当たり的に答えられているようでは、本当にきちんと検討されたのかと疑問に感じる保護者が多いのではないでしょうか。

私は学文路小学校と統合することに反対しているのではなく、納得のいく説明がなされていないことに不満を持っています。まずは「第２期橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針　第３章 学校適正規模・適正配置の基本的な考え方」を踏まえて、どのように検討されたのかをお伺いしたいです。説明会では、橋本小学校も入れた３校統合案も検討されたとのことでしたので、それぞれの統合案の検討の内容をわかりやすく説明していただきたいと思います。

具体的には、説明会資料の１６、１８、２０ページに記載されている各項目について、それぞれの統合案をどのように検討されて現在の統合案を決められたのか、次回の説明会で説明していただきますようお願いします。